

北陸学院高等学校

「ミッションの教育力」

1855年の創立以降、「ミッション」の名で親しまれてきた北陸学院高等学校。「勉強プラスもうひとつ」をはじめ、キリスト教に基づいた独自の教育は、生徒一人ひとりを確かな未来に導くとして各方面から高い評価を得ている。本号では近年成長目覚ましい陸上部の顧問である川口教諭に、部活動の状況や指導法などを聞く。



高く掲げたゴール目指して
がんばった時間が未来の糧に。

北陸学院高等学校 数学科教諭

かわぐち まさき
川口 雅樹

1974年生まれ、青森県八戸市出身、富山大学理学部数学科卒。大学卒業後自衛官になるが、指導者という仕事に魅力を感じて転職、2002年北陸学院小学校教諭に。その後同学院中学校を経て2007年より高校で数学を担当。陸上競技は小学生の頃より現在まで続けている。24H担任、陸上競技部顧問、石川陸上競技協会記録部長。

TOPICS!

ミッションならではの
学校生活をご紹介します



骨から動かす独特のストレッチ法で準備運動する部員たち。北信越大会やインターハイ出場を目指し、金沢市営陸上競技場などで毎日こつこつ練習しています。



陸上部・野球部・男子バスケットボール部・女子硬式テニス部の4部が強化指定部。強化指定部での貢献が期待できる受験生には、スポーツ推薦制度もあります。

錯誤しています。現在効果を実感しているのが、数年前から行っている「体をゆるめて骨から動くストレッチ法」。これは筋肉を固めてしまう従来のトレーニングの対極にあるもので、赤ちゃんのようになんとか体を念頭に、全身の骨一つひとつを意識して体を動かすメソッドです。ウォーミングアップやクールダウンで毎日実施し、腹筋運動などはまったく行っていない。この方法を始めてから可動域が無理なく広がって自在に動けるようになり、肉離れや腰痛などの故障がかなり減ったように思います。

それから、中高合同のアットホームな部であることも本校らしい特徴ですね。練習メニューは、中高ほぼ同じ。中学生にとっては高校の陸上のレベルが実感できて目標を設定しやすい上に、高校生とのふれあいがとても楽しい様子です。また、高校生も後輩を教えるという行為から学ぶものがあるようで、総合学園ならではのこうしたスタイルにさまざまな利点を見出しています。

高く掲げ、自ら向上したいと強く願う気持ちが大切です。「求めなさい、そうすれば与えられる」「門を叩きなさい、そうすれば開かれる。」学校生活で日頃触れている聖書の御言葉なども借りながら指導していますが、チームで挑むリー走などは、やる気を引き出すのに非常に効果的です。実力のあるメンバーに引張られて他メンバーも意識が向上し、着実に力がつきます。今年は女子リレーチームが県4位に入り、北信越大会の出場権を得ました。みんな意欲満々で記録もどんどん更新していますよ。

勉強以外の何かに打ち込む経験を通じて人間力を養い、自身の使命を見つけて出す。それが「勉強プラスもうひとつ」という本校の教育方針で、当部の部員の中にも運動と勉強を両立し、志望の国公立大などに進んだ卒業生が何人もいます。部活動での学びを基盤に、物事をきちんとできる人間に、自分の社会的使命をしっかりと果たせる人間になつてほしいですね。それを応援することこそが私の使命だと考えています。

向上したいという強い思いが
大きな飛躍の原動力となる

また、今春から「速く走りたいならゆつくり動け」というアドバイスも行っています。常に全力でなく、より良い走りをきちんと身につけ、速度もコントロールしながら丁寧に走れという意味で、これを体得した生徒たちが急速に成長しているのを感じています。ここです。生徒は一人ひとり性格も体格も違うので、フォームを変えたり、型にはめたりするような指導は極力避け、それぞれが自分らしく楽しく練習できるように心がけています。

陸上は個人競技なので、個人の頑張りがある結果に現れます。団体競技の場合、負けると悔しい思いが強く残るかもしれませんが、陸上競技では、たとえ負けても自己ベストが更新できると、何がしかの達成感が得られます。これが陸上の醍醐味だと思うので、生徒がそれをしっかり感じられるように指導していきたいですね。

勉強以外の何かに打ち込む経験を通じて人間力を養い、自身の使命を見つけて出す。それが「勉強プラスもうひとつ」という本校の教育方針で、当部の部員の中にも運動と勉強を両立し、志望の国公立大などに進んだ卒業生が何人もいます。部活動での学びを基盤に、物事をきちんとできる人間に、自分の社会的使命をしっかりと果たせる人間になつてほしいですね。それを応援することこそが私の使命だと考えています。

特別進学コース
難関国公立大学への
進学を目指して

総合進学コース※
主に推薦を利用した
多彩な進路に対応

確かなサポート体制で、推薦入試はもちろん、センター試験を含む一般入試にも対応できるハイレベルなコース。同志社大学への特別推薦や有名私立大学の指定校推薦も充実しており、多様化する入学試験制度に対応しています。

主に推薦入試で4年制大学を目指すコース。全国のおよそ130大学に約650名の推薦枠を有し、北陸学院大学への特別推薦枠も充実しています。大学から就職まで幅広い進路の選択が可能なコースです。

※選択科目によって理系大学や看護系の学校への進学も可能です。

主な進路イメージ

国公立大学
同志社大学
関西学院大学
青山学院大学
明治学院大学
私立大学
短期大学
専門学校
海外留学

北陸学院大学への
特別推薦枠

新しいメソッドを次々に導入
個性を伸ばして力を引き出す

新しいことに挑戦するのが好きなので、どんな指導法が良いかといつも試行

私は現在、数学を教える傍ら陸上部の顧問をしています。本校の陸上部は今から10年前、私が北陸学院中学校の教員であったときに立ち上げたのが出発点です。中学生部員がわずか3人、ほとんどが初心者という小さな部でした。その部員たちが本校に進学したことから、高校でも陸上部を創設。県下の高校ではおそらく一番若い陸上部だと思っています。

今春の在籍者数は3学年合わせて約30名で、創設時に比べると大所帯になり、強化指定部の一つとして北信越大会に進出する選手も増えています。400メートルハードルで今年度の県代表になった高3女子の選手は、中学時代100メートルで県大会に進出できなかった選手ですが、本校に来て種目を変えようとした結果、実力が一気に開花しました。

また、高1男子の選手も、中学の頃は決勝に進出できませんでしたが、今春入部後に驚くほど成長し、新人大会では県トップレベルの成績を収めてくれました。このような生徒の成長を見るのが、指導者には何よりの喜びですね。

創設から数年の陸上部で
伸び盛りの芽を大切に育む

学校・入試説明会と入試のご案内

北陸学院高等学校 Hokuriku Gakuin high school

▶学校・入試説明会
11月23日(金・祝) 申込締切 11/16(金)
11月28日(水) 申込締切 11/21(水)
12月 1日(土) 申込締切 11/23(金・祝)

●対象/中学2・3年生とその保護者
参加お申し込みは、本校配布のチラシ申込欄をFAX、またはホームページよりお願いします。

▶入試
1月12日(土) 推薦入試
2月 1日(金) 一般入試(一次)
3月18日(月) 一般入試(二次)

北陸学院中学校 Hokuriku Gakuin Junior high school

▶入試
1月19日(土) 入学試験



ミッションならでの、**「学ぶ環境」**！



グロリア・チャペル
毎朝の礼拝を行うチャペルです。創立100周年を記念して導入したパイプオルガンの音色に心を落ち着かせ、自分と向き合います。



電子黒板
すべての教室に設置。動画や音声、画像を使いながら授業を行うため、生徒の興味・関心を引くことができます。



中学生のお子様をもつ保護者の方へ

スカラシップ奨学金制度^{※1}………**下記成績優秀者の3年間の授業料を無償^{※2}とします**

- ①本校の入学試験で5教科の合計点が400点以上の入学者
- ②本校を推薦入試(専願・併願とも)で受験し合格した者のうち、3年次の9教科評定の合計が**本校の定める基準以上の入学者**

※①②ともに特別進学コース・総合進学コースどちらのコースを受験した場合も適用されます。

※1:本制度は、入学後、著しい成績不振等により打ち切り・中断となることもあります。

※2:入学金や教科書代、副教材代、修学旅行費などは含まれません。

※3:世帯収入によって金額が変わります。

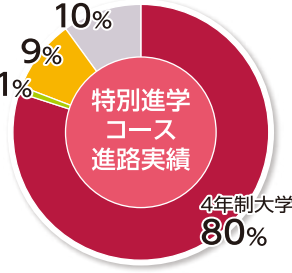
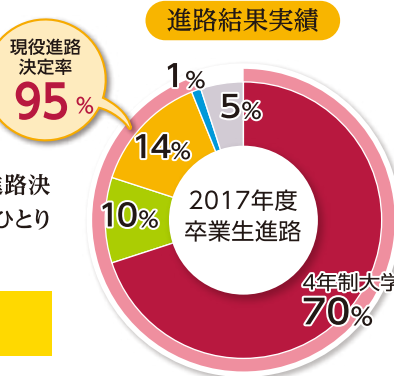
※4:毎月の授業料から「高等学校等就学支援金制度」の支給額を差し引いた金額です。合計29,000円/月 合計19,100円/月

従来	就学支援金が1倍の場合 ^{※3}	1年目	2年目	3年目
授業料 29,000円	授業料 -9,900円	高等学校等 就学支援金 -9,900円	高等学校等 就学支援金 -9,900円	高等学校等 就学支援金 -9,900円
		北陸学院高校 スカラシップ 奨学金制度を 利用した場合		
		スカラシップ 奨学金制度 ^{※4} -19,100円	スカラシップ 奨学金制度 ^{※4} -19,100円	スカラシップ 奨学金制度 ^{※4} -19,100円
		3年継続して 合計0円/月		

2018年度の大学入試結果から
合格実績で見る「**進学力**」

本校では、生徒の個性を活かした進路指導をしています。生徒自身が将来を考えながら進路決定ができるようサポート。最近では現役の4年制大学進学率が3年連続70%を超え、一人ひとりが目標を持って学び、志望する進路への歩みを進めています。

2017年度卒業生 4年制大学 主な合格実績 **すべて現役合格!!**



4年制大学 短期大学
専修・各種学校 就職
未定・浪人

国公立大学

金沢大学2名
(人間社会学域 学校教育学類・文系後期一括)
金沢美術工芸大学1名
(美術工芸学部芸術学専攻)
富山大学1名
(理学部生物圏環境科学科)
石川県立看護大学1名
(看護学部看護学科)
公立小松大学1名
(国際文化交流学部国際文化交流学科)

TOPICS 1

金沢大学：「文系後期一括・理系後期一括」入試

平成 30 年度入試よりスタートしました。1 年次は「国際基幹教育院 総合教育部」に所属。入学してから時間をかけて興味のある分野を探し、2 年進級次に学類を決定できる入学方法です。はじめての入試で対策が難しいなか、本校の生徒は日頃の積み重ねで基礎が定着していたため、見事合格することができました！

難関私立大学

同志社大学11名
(神・経済・社会・心理・スポーツ健康科学・政策・生命医科学・文・文化情報・法)
関西学院大学6名
(教育・人間福祉・文・法)
明治学院大学5名
(経済・国際・社会・文)
青山学院大学2名
(教育人間科学・総合文化政策)

TOPICS 2

推薦入試のためのポートフォリオ

小論文や面接のサポートを進路指導部や教職員総動員で実施。入学時からの学習の歩みためていく独自の取り組み「進路ファイル」は、志望校を選択する際のふりかえりに役立ち、小論文や面接の対策にもなります。本校では、職種から考えるのではなく、どんなことが好きか、どんな仕事をして役に立ちたいかなど違う視点をもって進路を考えるように指導しています。

他にも！

生徒それぞれが
進路実現に向けて
羽ばたいています！

大阪芸術大、関西大、京都外国語大、京都産業大、近畿大、神戸女学院大、白百合女子大、津田塾大、帝京大、東海大、同志社女子大、名古屋外国語大、名古屋商科大、日本歯科大、日本大、日本福祉大、フェリス女学院大、法政大、立教大、立命館アジア太平洋大、立命館大、山梨学院大…など

なぜ北陸学院高等学校が選ばれるのか？

MISSIONの「**教育力**」

Educational Capability

勉強プラスもうひとつ

部活動や生徒会、習い事などさまざまな「もうひとつ」に取り組み、充実した学校生活を過ごすとともに、人間的成長を目指します。



豊富な指定校推薦枠

「キリスト教学校教育同盟加盟校」である同志社大や関西学院大、明治学院大などへの推薦枠を有しています。



独自の海外留学プログラム

希望者向けに、短期海外研修や長期留学を実施。世界を知ると同時に自分自身を見つめ直す機会となり、将来の可能性を広げます。

